

廃バッテリー

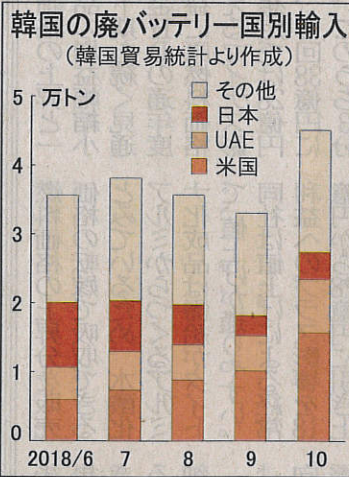
韓国、対米シフト鮮明に

10月輸入1.6万トンに増加

韓国の廃バッテリー（使用済み自動車用鉛蓄電池）輸入の対米国シフトが鮮明になってきた。このほど韓国関税庁が発表した10月貿易統計によると、総輸入量は過去2番目の多さとなり、前月比54・5%増の1万5714トで過去最多に達した対米輸入が全体数量を押し上げた。対日輸入の減少分をカバーして、二次精錬業の操業率維持を図っていると考えられる。

日本産減少をカバー

鉛二次精錬業が盛んな韓国は、リサイクル原料の廃バッテリーを世界各国から輸入している。10月の韓国の廃バッテリー総輸入量は前月比36・3%増の4万5121トと急増し、2017年3月に記録した4万7038トに次ぐ高水準だった。対米輸入は4カ月連続で前月比プラスとなり、17年1月の過去最多1万3550トを上回った。日本からの輸入は36・2%増の3906トと4カ月ぶりに増えたものの、直近最多だった6月9371トと比



べると約4割に減少している。日本は米国と並ぶ有力輸入先だったが、法改正によって事実上更新できなくなった日本側の輸出ライセンス切れが相次ぎ、減

少が顕著になっている。韓国の総輸入量は17年の年間49万6761ト（月平均4万1396ト）と比べると、19月は月平均で3万

7599トと前年比47%のペースで推移していた。特に、対日輸入が7年ぶりに3000トを割った9月は、総輸入量も3万3109トと1年以上ぶり低

スクラップ 亜鉛 現金 買入
カーサイト(金型)・丹入コロ・ドライ粉・その他
各種亜鉛再生塊製造販売

株式会社 市川金属

本社 岐阜県各務原市鷺沼朝日町1-33 TEL 058(370)4655(代)
東京営業所 神奈川県厚木市金田391-1 TEL 046(294)3700(代)

水準に落ち、同国の二次精錬業の操業率、さらには地金やバッテリー生産にも影響が出そうな情勢だった。

10月の主な輸入相手国の内訳は、米国1万

5714ト、UAE(アラブ首長国連邦)7724ト、日本3906ト、ドミニカ共和国2883ト、イエメン2070ト、ニュージーランド1987ト、シンガポール1162ト、豪州1134ト、ガーナ1115トと続いた。

米国に次ぐ多さの対UAEは前月比51・3%増で17年8月以来の高水準。ドミニカ共和国、イエメンからの輸入も前月からほぼ倍増した。1000ト超えの上位9カ国のうち、シンガポールを除く8カ国が前月比プラスとなり、これまで韓国が築いてきた集荷ネットワークを活用して、対日輸入を補完する動きとも考えられる。